



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日立ハイテクノロジーズ
 コード番号 8036 URL <http://www.hitachi-hightech.com/jp/>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 久田 眞佐男

問合せ先責任者 (役職名) CSR・コーポレートコミュニケーション部 長 (氏名) 横井 芳人

TEL 03-3504-5138

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	463,043	6.0	32,150	137.2	30,853	119.7	20,913	147.7
26年3月期第3四半期	436,695	1.4	13,553	△15.7	14,043	△16.8	8,444	△25.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 28,176百万円 (67.4%) 26年3月期第3四半期 16,833百万円 (21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	152.06	—
26年3月期第3四半期	61.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	514,832	295,706	57.3
26年3月期	494,934	272,968	55.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 295,003百万円 26年3月期 272,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	645,000	0.9	41,000	34.7	39,500	27.0	26,400	46.4	191.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	137,738,730 株	26年3月期	137,738,730 株
27年3月期3Q	205,806 株	26年3月期	203,551 株
27年3月期3Q	137,534,267 株	26年3月期3Q	137,536,999 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)平成27年3月期 通期の連結業績予想」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 当第3四半期連結累計期間の概況	P. 2
(2) セグメント別の概況	P. 2
(3) 平成27年3月期 通期の連結業績予想	P. 3
(4) キャッシュ・フローの状況	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 463,043 百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)比 6.0%増)、営業利益 32,150 百万円(前年同期比 137.2%増)、経常利益 30,853 百万円(前年同期比 119.7%増)、四半期純利益 20,913 百万円(前年同期比 147.7%増)となりました。

(2) セグメント別の概況

電子デバイスシステム

プロセス製造装置は、大手主要顧客向けが好調であったため大幅に増加しました。

評価装置は、測長SEMが一部量産投資の後倒しの影響を受けましたが、外観検査装置の販売台数が伸び微増となりました。

後工程・実装装置は、ダイボンダが顧客の好調な設備投資を背景に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 90,574 百万円(前年同期比 17.7%増)、経常利益は 11,910 百万円(前年同期比 15.8%増)となりました。

ファインテックシステム

環境・エレクトロニクスは、産業インフラ関連が一部立ち上がってきたことにより微増となりましたが、ハードディスク関連製造装置がパソコン需要低迷の影響を受け減少しました。

社会インフラ検査は、鉄道関連検測装置が微増となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 5,017 百万円(前年同期比 11.1%減)となりましたが、事業構造改革の効果により前年同期より 3,957 百万円改善の 1,328 百万円の経常損失(前年同期は 5,285 百万円の経常損失)となりました。

科学・医用システム

科学システム(電子顕微鏡・科学機器)は、国内市場は設備投資先送りなどの影響を受けたものの、中国市場が堅調に推移し微増となりました。

バイオ・メディカルは、医用分析装置が欧州市場の回復ペースが鈍い中で、新興国市場向け販売が好調に推移したことや、米国市場において大規模顧客向けに生化学・免疫分析装置と検体前処理システムのパッケージ販売等が拡大したことにより大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 119,728 百万円(前年同期比 20.3%増)、経常利益は 18,708 百万円(前年同期比 94.4%増)となりました。

産業・ITシステム

産業ソリューションは、顧客の積極的な設備投資を背景に自動車部品自動組立システムが好調に推移し、また国内を中心に太陽光発電関連部材が販売を伸ばしたことから増加しました。

ICTソリューションは、車載用ハードディスクドライブは市場環境が厳しく横ばいとなりましたが、通信用機器において携帯電話の販売が減少したことにより大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 57,020 百万円(前年同期比 6.8%減)、経常損失は 899 百万円(前年同期は 1,222 百万円の経常損失)となりました。

先端産業部材

自動車・輸送機器関連部材は、米国と中国市場を中心に引き続き堅調に推移し増加しました。エレクトロニクス関連部材は、スマートフォン関連の強化ガラス等の部材が中国向けに伸長したものの、その他電池等の部材が低調に推移し減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は194,239百万円(前年同期比1.8%減)、経常利益は1,410百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

(3)平成27年3月期 通期の連結業績予想

世界経済は、欧州全体では南欧諸国での景気低迷などで低成長が長期化するものと思われま
す。また新興国も中国経済の減速が続くなど、成長が鈍化するものと予想されます。

一方、米国では個人消費や住宅投資を中心に景気回復が加速すると見込まれます。日本では消費税率引き上げによる影響が残るものの、円安や原油安による国内生産の回復や景気刺激策の効果により、穏やかに景気が回復すると見込まれます。

当社を取り巻く事業環境は、半導体製造装置市場では、一部で投資時期など今後の動向に不透明な部分が見受けられますが、引き続きスマートフォンやタブレット端末などのモバイル関連機器を中心にロジック・メモリー投資が堅調に推移すると思われま
す。科学・医用システム関連市場は、科学システムにおいては国内市場が伸び悩んでいるものの、次世代先端(新エネルギー・新素材)関連分野を中心に徐々に回復すると予想されます。バイオ・メディカルにおいては欧州市場の回復は弱いものの、中国等新興国市場及び米国市場は堅調に推移するものと思われま
す。産業・ITシステム及び先端産業部材関連市場では、国内企業の設備投資が回復しつつあり、また新興国市場が穏やかに成長していることから、社会・産業インフラ、自動車・輸送機器等の分野への投資が継続していくものと予想されます。

なお、ファインテックシステムは、コア技術を活かした社会インフラ検査、産業インフラ関連を主力事業として業容拡大を進めていきます。

以上により、当社の通期の連結業績予想は、売上高645,000百万円(前期比0.9%増)、営業利益41,000百万円(前期比34.7%増)、経常利益39,500百万円(前期比27.0%増)、当期純利益26,400百万円(前期比46.4%増)としております。

なお、平成27年3月期の通期連結業績予想等を勘案し、当期の期末配当予想を従来の15円から25円に修正しております。その結果、年間配当予想を45円に修正しております。

今後とも、ハイテク・ソリューション事業におけるグローバルトップをめざすとともに、最先端・最前線の事業創造企業として、顧客及び市場のニーズにスピーディーに対応し、業績予想の達成をめざしてまいります。

(4) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より10,227百万円増加し、143,825百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加、及び売上債権、たな卸資産、仕入債務の運転資金増減による資金の増加が、法人税等の支払の増加、及びその他の資産・負債増減が支出に転じたことによる支出の増加を上回ったこと等により、前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)に比べ3,291百万円増加し、11,689百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出が減少したこと、その他の短期資産運用の増減による収入が増加したこと、及び有価証券の償還等により、前年同期に比べ12,059百万円増加し、944百万円の収入となりました。

以上により、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、前年同期に比べ15,350百万円増加し、12,633百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が増加したこと等により、前年同期に比べ1,465百万円減少し、5,469百万円の支出となりました。

当社グループ財務政策として、業容拡大に伴う運転資金及び研究開発投資・設備投資に対応するための適切な流動性の維持と資金の確保、並びに健全なバランスシートの維持を図りつつ、財務基盤の強化を行ってまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度により発生した原価差異に関して、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合は、当該原価差異を流動資産又は流動負債「その他」として繰り延べております。

②税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,548	28,024
受取手形及び売掛金	135,067	131,712
有価証券	1,002	2,027
商品及び製品	34,930	46,206
仕掛品	36,313	41,962
原材料	3,923	4,118
関係会社預け金	112,139	109,472
その他	31,595	33,330
貸倒引当金	△486	△356
流動資産合計	377,031	396,494
固定資産		
有形固定資産	75,110	77,471
無形固定資産		
のれん	4,075	3,574
その他	8,918	8,852
無形固定資産合計	12,993	12,426
投資その他の資産		
その他	30,115	28,750
貸倒引当金	△315	△309
投資その他の資産合計	29,800	28,441
固定資産合計	117,903	118,338
資産合計	494,934	514,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,683	109,316
未払法人税等	8,069	4,655
製品保証引当金	2,690	3,037
その他	54,449	51,452
流動負債合計	170,891	168,460
固定負債		
役員退職慰労引当金	224	234
退職給付に係る負債	49,303	48,933
その他	1,548	1,498
固定負債合計	51,076	50,665
負債合計	221,966	219,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,938	7,938
資本剰余金	35,745	35,745
利益剰余金	233,402	248,814
自己株式	△334	△341
株主資本合計	276,751	292,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,744	6,814
繰延ヘッジ損益	△368	△1,054
為替換算調整勘定	2,241	7,538
退職給付に係る調整累計額	△11,910	△10,452
その他の包括利益累計額合計	△4,293	2,846
少数株主持分	511	703
純資産合計	272,968	295,706
負債純資産合計	494,934	514,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	436,695	463,043
売上原価	355,528	361,821
売上総利益	81,167	101,222
販売費及び一般管理費	67,614	69,072
営業利益	13,553	32,150
営業外収益		
受取利息	293	340
受取配当金	162	186
雑収入	624	309
営業外収益合計	1,080	836
営業外費用		
支払利息	42	59
持分法による投資損失	48	35
為替差損	—	1,573
雑損失	501	466
営業外費用合計	590	2,133
経常利益	14,043	30,853
特別利益		
固定資産売却益	—	43
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	—	47
特別損失		
事業構造改善費用	421	1,766
投資有価証券評価損	81	—
減損損失	9	—
特別損失合計	510	1,766
税金等調整前四半期純利益	13,533	29,134
法人税等	4,824	8,149
少数株主損益調整前四半期純利益	8,709	20,985
少数株主利益	265	72
四半期純利益	8,444	20,913

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,709	20,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,898	1,070
繰延ヘッジ損益	44	△686
為替換算調整勘定	4,531	5,349
退職給付に係る調整額	1,652	1,458
その他の包括利益合計	8,124	7,191
四半期包括利益	16,833	28,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,541	28,053
少数株主に係る四半期包括利益	292	123

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,533	29,134
減価償却費	6,815	7,917
減損損失	9	—
のれん償却額	501	501
引当金の増減額 (△は減少)	△239	△152
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,207	1,604
受取利息及び受取配当金	△456	△526
支払利息	42	59
持分法による投資損益 (△は益)	48	35
売上債権の増減額 (△は増加)	3,488	9,060
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,795	△13,916
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,501	△2,586
その他の資産・負債の増減額	2,302	△9,477
その他	476	1,474
小計	12,432	23,128
利息及び配当金の受取額	474	539
利息の支払額	△27	△58
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,480	△11,920
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,398	11,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	—
定期預金の払戻による収入	26	0
有価証券の売却及び償還による収入	87	1,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△14,418	△9,481
有形及び無形固定資産の売却による収入	60	404
投資有価証券の取得による支出	△50	△130
投資有価証券の売却及び償還による収入	15	11
会員権の取得による支出	—	△2
会員権の売却による収入	3	18
貸付けによる支出	△137	△272
その他	3,300	9,394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,116	944
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,200	—
少数株主からの払込みによる収入	—	70
配当金の支払額	△2,752	△5,499
その他	△53	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,004	△5,469
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,088	3,062
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,633	10,227
現金及び現金同等物の期首残高	123,485	133,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	120,851	143,825

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス システム	ファイン テック システム	科学・医用 システム	産業・IT システム	先端産業 部材	計				
売上高										
外部顧客への売上高	76,811	5,646	98,781	58,868	196,212	436,319	377	436,695	—	436,695
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120	0	749	2,322	1,654	4,845	2,651	7,496	△7,496	—
計	76,931	5,647	99,530	61,190	197,866	441,163	3,028	444,191	△7,496	436,695
セグメント利益 又は損失(△)	10,289	△5,285	9,622	△1,222	1,811	15,214	△1,898	13,316	727	14,043

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,214
「その他」の区分の損失	△1,898
セグメント間取引消去	△24
社内借入金に対する利子の戻入額	328
配分した事業構造改善費用の戻入額	421
その他の調整額(注)	3
四半期連結損益計算書の経常利益	14,043

(注)その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス システム	ファイン テック システム	科学・医用 システム	産業・IT システム	先端産業 部材	計				
売上高										
外部顧客への売上高	90,418	4,793	118,892	54,749	192,630	461,483	446	461,929	1,114	463,043
セグメント間の内部 売上高又は振替高	156	224	836	2,270	1,609	5,096	746	5,842	△5,842	—
計	90,574	5,017	119,728	57,020	194,239	466,579	1,193	467,771	△4,728	463,043
セグメント利益 又は損失(△)	11,910	△1,328	18,708	△899	1,410	29,802	△1,540	28,262	2,591	30,853

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,802
「その他」の区分の損失	△1,540
セグメント間取引消去	△6
社内借入金に対する利子の戻入額	345
配分した事業構造改善費用の戻入額	1,766
その他の調整額(注)	487
四半期連結損益計算書の経常利益	30,853

(注)その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。